

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和8年2月16日（月）午後5時00分～午後6時00分
地 区	倉治地区
場 所	倉治公民館
参加人数	26人

テーマ1「公共交通について」

主 旨（区長）

- おりひめバスのコースが今後どうなるかについて確認したい。

市 長

- 交野市役所・交野市駅までの延伸について市民から意見を聞いている。R8年7月からは河内磐船駅、第二京阪側道、交野警察、交野市役所、河内磐船駅の順で運行する予定である。
- 交野市駅まで延伸をしたいが、交野市駅の西側だと運行時間に1時間以上かかること、交野市駅の東側はバス停が設置できないなどの理由から市役所までの延伸となる。
- 交野市駅の東側で再開発の話があることから、整備され次第、交野市駅前までの延伸を考えている。
- 河内磐船駅で乗り換えずに、中部・東部を統合したいと考えている。また、8人が乗れるワゴン車から12人が乗れるワゴン車に変更することで、積み残し問題は解決される。
- R8年度の外出支援事業は、支給額をこれまでの4,600円から6,000円に引き上げを予定している。

意 見

- スーパーに行きたい高齢者が多いと考えるが、今後、スーパーへおりひめバスを停める考えはあるのか。
→[市長]市民からは鉄道までのアクセスを求める声が大きく、その次にスーパーである。新しい東部路線では河内磐船駅付近の関西スーパーや交野市駅付近のラッキーには寄ることができるが、地域の皆様が行きたいすべてのスーパーへ停車するのは難しい。R9年度の南部路線ではフレンドタウンまで延長したいと考えている。
- 津田駅停車の路線バスを検討いただきたい。
→[市長]枚方市の駅であるため、優先度が低い場所である。ゆうゆうセンターがあり、快速電車が発着するなど利便性を考えると河内磐船駅への停車を優先するべきであると考えている。
- 河内磐船駅発着のバスは、南側ロータリーに接続してほしい。

→[市長]南部路線は中型バスを走らせているため、おりひめバスは北側ロータリーに停めなければならないが、R8年度からは東部・北部ルートを北側ロータリーに集約する予定である。また、北側と南側のロータリーの移動は、エレベーターもしくはエスカレーターが設置できるよう検討を進めている。

テーマ2「登下校時の児童の安全対策について」

主旨（区長）

- 登下校の見守りを無償ボランティアで実施しているが、高齢化により従事者が減少していることから、子どもの安全対策の考えについて意見交換したい。

市長

- 1年間の確定値は出ていないが、11月末時点で大阪府下犯罪発生率は交野市が一番低い状況であり、府下の他の自治体と比較しても安全なまちであると認識している。
- 通学路の見守りは市の財政健全化で取組みが廃止となったが、私が市長就任後に、シルバー人材センターに委託し、各学校で2か所の通学路見守りをお願いしている。倉治区においては、幾物神社、久御山線の2か所に配置をしている。
- 今後、見守り箇所を増やしたいが、シルバー人材センターでも地域によっては人材確保が難しく、また市の財政的にも厳しい状況である。
- 通学路には防犯カメラを設置しており、今後、地域防災を絡めて、国の交付金「緊急防災・減災事業債」などを活用して、防犯カメラの更新、設置箇所を増やすなどして、児童・生徒の安全対策を進めたいと考えている。
- 小中学校の給食費の無償化、各小学校の空調設置・トイレの改修工事などがあることから、市の予算・決算の状況を見て、安全対策に費用を出せるよう検討を進めたい。

意見

- 子どもの安全を考えた時に、防犯カメラの設置だけだと交通事故の面で心配がある。見守りの人がいると事故の発生率が抑制されるので、見守りの人がいなくならないよう、地域の実情に合わせて配置を検討してほしい。

→[市長]見守りの配置は私や教育委員会で相談して決めている。各小学校に2か所配置しており、学校の位置・主要な幹線道路をみて児童が通る数、交通量が多いところが優先となるので、幾物神社、久御山線の2か所の配置になる。完璧な安全対策は財政的に難しい状況であるため、結果としてより安全になる取組として、今の2か所に配置していることは適正であると考えている。

テーマ3「交野市の活性化対策について」

主旨（区長）

- 土砂災害に対する行政の協力体制について意見交換をしたい。

市長

- 本市は津波の心配はないが、震度6以上の大きな揺れによる家屋の倒壊が発生し、約1,000人の避難者の発生を見込んでいるため、避難所の整備に努めている。
- 避難場所となる倉治小学校は、空調を設置済みであり、R9～R11年までにトイレ改修が完了予定である。テントやベッドは約1,000人の避難者でも対応できる。また、AIシャワー・トイレ・ランドリートラックなどの導入による防災対策や各避難所に大型のタンクを設置し、給水車で給水をする事で、災害時の水の問題を解決できる。
- 倉治地区の人口規模では、倉治小学校だけで対応できない可能性があるため、倉治図書館を指定避難所に指定し、トイレ改修を進める予定である。
- 大雨時、既存水路では雨水を流すことができず、一部浸水する地域があるため、対策として、雨を蓄える場所を整備する予定である。場所は倉治図書館東側、倉治7丁目の調整池の拡大をすることで、浸水は緩和されると考える。

意見

- 障がい者が避難所に行くとパニックになる可能性があるため、民間の福祉施設を福祉避難所として防災の整備ができればよいと考える。
→[市長] 市における支援が必要な方の避難所はゆうゆうセンターを指定避難所としている。民間の施設を指定避難所として指定できるかは内部での確認・調整が必要である。また、提案いただいている事業者の施設は土砂災害警戒区域の範囲に含まれていることから総合的な判断をしたい。
- 情熱パーク（倉治公園）は常時鍵がかかっているため、すぐには開けることができない。災害時にすぐに対応できれば、広い広場なので避難できる場所として活用できると考える。事業者側に鍵を預けていただければ、協力できることもあると考える。
→[市長] 情熱パーク（倉治公園）は平日の一般開放を検討している。また、鍵の管理についてはR9年度より情熱スタジアム（私部公園）を含めた指定管理として委託を検討している。情熱パーク（倉治公園）は、国の交付金「緊急防災・減災事業債」を活用して、再整備したいと考えている。
- 支援物資は自治会に入っていない人に対しても配布してよいのか。
→[市長] 災害時は自治会に加入・非加入で物資の配布を線引きするのは難しいため、自治会非加入、自宅避難者などすべての人に物資は配布してほしい。災害時にかかわらず、市民の皆様には自治会・地区に加入してほしいことから、市でも自治会・地区への加入推奨を進めたい。
- 約1,000人の避難者が想定されているが、避難所に入れる線引きはあるのか。また、残りの自宅避難者は避難所で物資の配布を受けられ、AIシャワー・ランドリートラック等を利用できるのか。

→[市長] 交野市内の避難所は十分にスペースがあることから、帰省中や旅行で来訪している方等を拒むことは想定していない。トイレや洗濯などは自宅避難者も含めると一日で全員分に対応するのは厳しいと考えていることから、可能な限り自宅のものを使っただきたい。また、物資は市で一定整備をしており、また他の自治体より支援を受けられるので心配はないと考えている。